

## 新潟・ガルベストン姉妹都市提携 60 周年記念事業 新潟市代表団 アメリカ・ガルベストン市訪問 報告書

新潟市代表団 参加議員

新潟市議会 副議長 深谷 成信

// 議員 加藤 大弥

訪問日程 令和 7 年（2025 年）11 月 12 日から 11 月 18 日まで

### 主な日程

11 月 12 日（水曜）	新潟駅～東京駅～羽田空港
11 月 13 日（木曜）	羽田空港～ヒューストン国際空港 在ヒューストン日本国総領事 表敬
11 月 14 日（金曜）	シスターシティプラザでの記念式 出席 テキサス A & M 大学ガルベストン校 訪問
11 月 15 日（土曜）	日本酒試飲イベント 視察 ガルベストン市長 表敬 提携 60 周年記念祝賀会 参加
11 月 16 日（日曜）	ヒューストン市へ移動 日系マーケット 視察
11 月 17 日（月曜）	ヒューストン国際空港～
11 月 18 日（火曜）	～羽田空港～東京駅～新潟駅

訪問目的 姉妹都市提携 60 周年を記念しガルベストン市を訪問する新潟市代表団に議会の代表として参加し、両市の親善を深めるとともに、今後の更なる交流発展について意見交換を行う。

訪問概要 野島副市長を団長とする新潟市訪問団に、議会代表として深谷成信副議長、加藤大弥議員の 2 名が同行し、新潟市の PR や日本文化の紹介、姉妹都市提携 60 周年記念祝賀会に参加するとともに、ガルベストン市長、在ヒューストン日本国総領事への表敬訪問等を行った。

令和7年（2025年）11月13日（木曜）

○ 在ヒューストン日本国総領事表敬訪問

面談者：長沼 善太郎 在ヒューストン日本国総領事館 総領事  
皆川 宏志 ヒューストン日本語補習校 校長

羽田発の飛行機は定刻にヒューストン国際空港に到着したものの、ガバメントシャットダウンの影響で出勤する空港職員が少なく、入国手続きに時間を取られ、総領事館公邸ホールに到着したのは予定より遅れてしまった。それでも新潟県のご出身で新潟市にもご縁のある長沼善太郎総領事は私たちの到着を待っていて下さり、予定通りにプログラムを実施して下さいました。

総領事は挨拶のなかで、日米の協力の必要性に言及され、我が国は米国に対し過去6年間にわたり最大の投資国として、約100万人の雇用を創出しており、当地テキサス州だけでも日本企業は8万人以上の雇用を生み出していると、日本にもたくさんの都市があるが、その中でも新潟市はバランスの取れた素晴らしい都市のひとつであると述べられた。

また、今春まで新潟市立中学校で校長を務めておられた日本語補習校の皆川校長をご紹介下さり、校長からはヒューストン近郊で働く日本人の子どもたちの教育環境について説明を受けることができた。

○ ウエルカムパーティ

面談者：パトリシア・ボルトン=レッグ ガルベトン姉妹都市プログラム委員会 委員  
ほか

ヒューストンから専用バスでガルベトン市に約1時間で移動後、夕刻からガルベトン姉妹都市プログラム委員会(ガルベトン市では姉妹都市との交流は、行政ではなくこの団体が担っている)のパトリシア委員の邸宅で開催されたウエルカムパーティに参加し、プログラム委員会の皆さんから歓迎のおもてなしを受けた。リゾート地ならではの景色や穏やかな気候のなか、委員会の皆さんの明るく親切な人柄に触れ、改めて60年にわたって築き上げてきた両市の交流の成果を実感した。

令和7年（2025年）11月14日（金曜）

○ シスターシティプラザ記念式

面談者：クレイグ・ブラウン ガルベトン市長

ジョー・カップドーナ ガルベトン姉妹都市プログラム委員会 委員長 ほか

ガルベトン市が姉妹都市提携する、新潟市・ノルウェーのスタバンゲル市・メキシコのベラクルス市・スペインのマチャラビアヤ市の国旗を掲揚する場所である「シスターシティプラザ」で行われた記念式に出席した。

記念式にはクレイグ・ブラウン市長も出席され、市長からは歓迎のお言葉と、ちょうど2年前の2023年11月14日にシスターシティプラザの除幕式をされたという経緯をご説明いただいた。また、深谷副議長からの挨拶の機会を頂き、市議会と姉妹都市プログラム委員会の皆さんご参加のもと、各国の国旗がはためく会場で記念式典が挙行された。

#### ○ テキサスA&M大学ガルベストン校訪問

同校は農業と工業を学ぶ大学として設立された7万人の学生を擁する州立大学である。ガルベストン校はその分校にあたり、主に海洋科学・海事分野の学生が在籍しており、2,300人が学んでいると伺った。大学内を案内して頂いたところ、港湾に面したマリナーには、研究や学習に必要な船舶が揃えられており、他にも水族館と見間違うほどの海洋資源の研究施設や、海洋資源開発から造船技術に至るまで、恵まれた教育環境が整えられていることに驚かされた。また交流の機会を得た多くの学生は礼儀正しいながらもフレンドリーで、外部からの訪問者の我々に対し興味を示し、積極的に話しかけて来てくれ、ここでもお国柄を感じさせられた。

また、校内のロビーを利用して日本文化の紹介や体験ブースを出展した。ノベルティを配りながら新潟とガルベストンの交流をアピールしたり、書道の体験を通じた交流を行い、多くの学生の皆さんから参加を頂き好評を得た。

#### ○ ストランド歴史地区視察

100年以上前に建てられたビクトリア様式の建物が立ち並ぶ、まるで映画のシーンのような街並みからは、19世紀当時の歴史が偲ばれる。かつての全盛期の象徴とこのことだが、現在でも土産物店や飲食店をはじめ様々な店舗が軒を連ね、大いに賑わいを見せており、州外や国外からもたくさんの観光客が訪れていた。

#### ○ ガルベストン鉄道博物館（ポラーエクスプレス体験）

ガルベストン鉄道博物館はストランド地区の歴史的建造物(19世紀末に鉄道会社本社と駅舎を兼ねて建設された)を1983年に改装しオープンした。現在40台ほどの車両を保有する国内最大の施設とのこと。「ポラーエクスプレス」とは2004年に公開されたクリスマスと蒸気機関車を題材にした映画で、博物館ではこの機関車に実際に乗車して映画の世界そのままを体験できるというアトラクションが人気を呼んでいる。実際に走っている車両の中で演じられたショーは、大人でも十分に楽しめるエンターテイメントであった。

令和7年（2025年）11月15日（土曜）

### ○ 日本酒試飲イベント視察

新潟・ガルベストーン委員会の主催で、60周年記念事業の一環として日本酒試飲イベントが開催された。ストランド歴史地区を訪れたガルベストーン市民や観光客に向け、新潟市産の日本酒と米菓を提供しながら、姉妹都市提携60周年をPRすることで、「N I I G A T A」を広く知ってもらうことを目的としたイベントで、我々も通行人にチラシを配布するなどしながら、応援行動をした。当日は、月に1回開催されるアートウォークイベントもあり、イベントを大いに盛り上げてもらった。

ヒューストンにある日本の現地法人のビジネスマンが休暇を利用してガルベストーンを訪れていて、しかも何と新潟県人で、「久々に日本酒を堪能できた」と喜んでもらう一幕もあった。

### ○ ガルベストーン市長表敬

面談者：クレイグ・ブラウン ガルベストーン市長

姉妹都市交流への理解・支援と訪問団の受入れに対するお礼を述べるため、クレイグ・ブラウン市長を表敬訪問した。ウォーターワークスビルディング内の会議室で行われた面会式では、ブラウン市長から訪問を歓迎するとのご挨拶をいただいた。そして、新潟市代表団として、野島副市長に続いて、深谷副議長からも「ガルベストーン市を訪問することができ、ブラウン市長をはじめ関係者の皆様とお会いすることでき、うれしく思っている」こと、「1965年の姉妹都市提携以来、姉妹都市の絆によって、お互いの都市を訪問し合い様々な分野で交流を深めてきた」こと、「特に若い世代における、ガルベストーン市と新潟市との『つながり』が、新たな交流に発展していくものと、大いに期待している」ことをお伝えした。

また、併せて「新潟市議会としても、今後も市民交流と、両市の相互協力の関係が継続し、発展することを強く願っている」として「ぜひ、多くのガルベストーン市の皆様から新潟市へお越しいただけるよう願っており、新潟市の自慢である『食』をはじめとする新潟の魅力に触れていただきたい」などと感謝の意を伝える挨拶をさせてもらった。

### ○ 姉妹都市提携60周年記念祝賀会

面談者：クレイグ・ブラウン ガルベストーン市長

ジョー・カップドーナ ガルベストーン姉妹都市プログラム委員会 委員長

シャロン・ルイス ガルベストーン市議会 議員 ほか

市長表敬と同ビル内で、記念祝賀会が開催された。

ガルベストーン市のブラウン市長、野島副市長のスピーチ、ガルベストーン姉妹都市プログラム委員会のジョー・カップドーナ委員長、新潟・ガルベストーン委員会の島田雅巳委員長、在ヒューストン日本国総領事・長沼善太郎氏とともに、深谷副議長からもお祝いのスピーチを述べさせてもらった。

令和7年（2025年）11月16日（日曜）

### ○ ムーディーマンション視察

ウィリス・ムーディー・マンションは、1895年に完成した31室からなるロマネスク様式の邸宅。この家の名前は、ガルベストンの社交界の名士ナルシッサ・ウィリスと、この家を購入したアメリカの金融家で、綿花ビジネスの起業家であるウィリアム・ルイス・ムーディ・ジュニア（ムーディ財団創始者）にちなんで名づけられた。この邸宅は1994年にアメリカの国家歴史登録財に追加登録されているとのことだ。

瀟洒な外観や豪華なステンドグラス・装飾品の数々を見学することで、アメリカの「寄付文化」の象徴を垣間見ることができた思いである。

〈参考〉ムーディ財団

1942年にウィリアム・ルイス・ムーディ・ジュニアとその妻リビー・ライス・シャー・ムーディによって設立された慈善財団で、以来75年以上にわたり、テキサス州のコミュニティをより良くするプロジェクトを支援しており、州内の組織に、15億ドル以上と4,000件以上の助成金を授与している。資産的には、テキサス州最大の財団の一つであり、米国最大の慈善団体トップ100に入る

### ○ ヒューストン市日系マーケット視察

テキサス州は全米第2の経済規模を誇る地域であり、州都ヒューストンでは急速に日本食の人气が高まっており（長沼総領事からもトピック紹介）、新潟製品の輸出にも大きな可能性がある。姉妹都市のガルベストンからは約80kmの場所に位置することもあり、当地の日系マーケットを訪問し、新潟の製品の販売状況や日本食品の需要を把握し、今後の販売拡大の可能性を探る機会とするため視察した。

訪問先は、Seiwa MarketとDaido（大道）であり、日本酒（新潟の日本酒としては、越乃寒梅・八海山・麒麟山・久保田など、他に山口県の獺祭も）やお米（北海道産が多いが、コシヒカリ等、新潟農商の新潟産米の取り扱いも有）、そして米菓（特に三幸製菓の商品は人気とのこと）の販売を確認することが出来た。

### 【総括】

この度、新潟市とアメリカ合衆国テキサス州ガルベストン市との姉妹都市連携60周年という大きな節目にあたり、ガルベストン市で催された記念祝賀会をはじめ、これまで両市の交流に尽力されてきた関係各位との親交を更に深めるイベントに参加する為、議会を代表して加藤大弥議員とともに現地を訪問しました。

提携60周年記念祝賀会やシスターシティプラザ(姉妹都市の国旗掲揚場)での記念式典においては、ガルベストン市長や市議会の皆様と、これまでの交流事業の成果や課題、これからの文化・教育等様々な分野での人的交流や相互理解について、意見交換させて頂きました。

また、祝賀会へご臨席下さった長沼善太郎在ヒューストン日本国総領事はじめ総領事館

員の皆様からは、ご当地の政治や経済の状況について、主に日本企業の活動や、そこで働かれている日本人の方々のご様子について伺いました。民間レベルで行われている日米間の協力関係を理解するうえで非常に参考となりました。

ガルベストン市滞在中は、ボランティアで構成されるガルベストン姉妹都市プログラム委員会(ガルベストン市ではボランティア団体の方々が姉妹都市との交流を担っておられます)の皆様からウエルカムパーティで心のこもったおもてなしを頂き、各訪問先へもご同行下さる等、特段のご配慮を頂きました。リゾート地であるご当地の温暖な気候や美しい街並みと、何よりもボランティアの皆様が親切で明るくオープンな気質に触れることができ、交流の意義を改めて認識させて頂きました。地理的には遠く離れた両市ですが、こうした訪問を通じた交流の機会は、両市の交流を発展させ信頼関係を構築することに大きく貢献するということを実感しました。



2025.11.13

【ヒューストン空港】

ガバメントシャットダウンの  
影響で入国審査がほぼ稼働して  
いない



2025.11.13

【在ヒューストン総領事公邸】

長沼総領事を表敬訪問





2025.11.13

【歓迎会】

姉妹都市プログラム委員会

会員の邸宅にて





2025.11.14

【シスターシティプラザ】

ガルベストン市長とともに

テープカットにて記念式

この時の様子は地元新聞に掲載



2025.11.14

【A&M 大学ガルベストン校】

キャンパス内見学

新潟 PR イベントを開催





2025.11.14

【鉄道博物館】

ポーラーエクスプレス開催の  
ため、ファミリーで賑わう





2025.11.15

【日本酒試飲イベント】

ストランド歴史地区にて

多くの来場者で賑わう





2025.11.15

【市長表敬】

ガルベストン市長を表敬訪問



2025.11.15

【姉妹都市提携 60 周年記念祝賀会】





2025.11.16

【ヒューストン日系マーケット】

豊富な日本製品

新潟の米、酒も揃う

惣菜などもあり



